

(8) 熱風炉, 高炉の乾燥及び火入れ操業

(戸畑才1高炉才2次改修について-III)

八幡製鉄

戸畑製造所

研野雄二・椎岡正毅

川村 総 ○山田公一

1 熱風炉の乾燥

熱風炉のレンガ積みは全面積替でなく
燃焼室外張り及び蓄熱室レンガ積みは
再使用とした。

乾燥の方針はレンガ及びモルタルの水分
を操業に支障を招かない程度に除去する
ことを目標に才1図に示す乾燥を行った。

2 高炉の乾燥

火入れ時の急激な炉内温度の上昇により
レンガ及びモルタルが水分により破壊を
かこさないう程度に脱水を行う必要があり
又乾燥期間は工期にも影響を及ぼすため
モルタル実験を行いその結果を使用した。
才2図に乾燥経過を示す。脱水量は7日
目にピークを示し以後急激に減少し10
日目には落着いた。

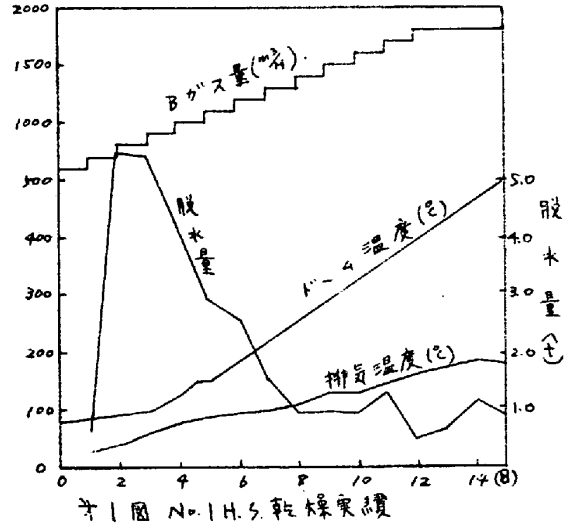
3 火入れ操業

枕木填充は4本抜き17段, 3本抜き4段
2本抜き3段, 1本抜き3段, 密着1段
の合計28段とし土鉄口, 土滓口にガス通
路は設けなかった。

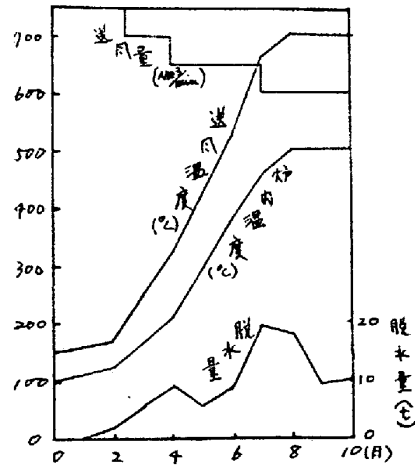
磁石填充は従来通りの方法としtopの
%は1.85とした。

火入れは5.4.10.22 11:30'に行い, 初湯
は23:30'経過後には182Tを得た。

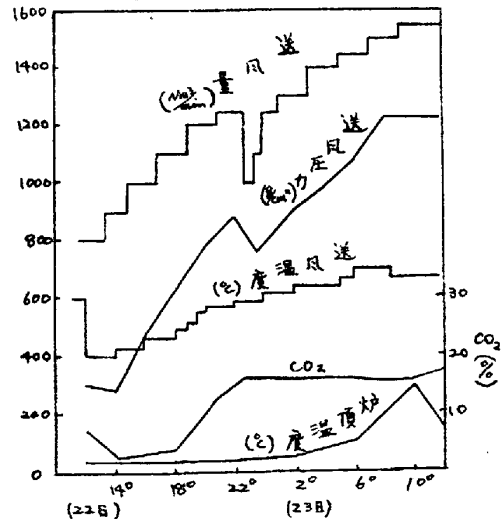
才3図に火入れより初湯までの操業経過
を示す。



才1図 No.1 H.S. 乾燥実績



才2図 高炉乾燥実績



才3図 火入れ操業経過